

ひまわり

Himawari

100号と振り返る 愛泉会の歩み



「ひまわり」は、昭和62年5月17日に記念すべき第1号が発刊されました。向陽園の名前のように、太陽に向かって明るく元気ががんばろうということで、職員一同で「ひまわり」という名前に決めました。今回は「ひまわり」とともに、これまでの愛泉会の歴史や取り組みを振り返りたいと思います。

- 昭和60年(1985年) 9月24日 社会福祉法人 愛泉会 設立認可
- 昭和61年(1986年) 4月1日 知的障害者更生施設 向陽園 開設

第1号 ● 昭和62年(1987年) 向陽園 開所1周年



第11号 ● 平成3年(1991年) 「社会自立に向けて」

(株)山広(紙製品業)さんへ4人の園生が実習に出かけて2カ月になります。(省略) 人生の一時期でも社会で皆と一緒に働いたということは、彼らの財産になると思います(記事一部抜粋)。



第23号 ● 平成7年(1995年) 「ショートステイ事業始まる」

近年の福祉施設の課題の一つは、地域社会のニーズに対応できる機能を持つことです(中略)。施設だけでなく、障害の重い方々でも、グループホームや家族とともに生活することが可能になれば、地域生活を支える援助形態の一つであるショートステイが本来の機能を発揮するのではないかと思います(記事一部抜粋)。



第44号 ● 平成14年(2002年)

「グループホームへの取り組み ～ひまわりの家の認可を通して～」

厚生労働省からの正式な認可が下り、4名の方がグループホーム「ひまわりの家」へ入居することになりました。この4名の方は、平成9年度から地域生活の実現に向けて、生活体験棟を拠点とし買い物や食事づくり等を行い、平成13年にはグループホームの試行的取り組みとして、グループホーム予定地で生活体験をいたしました。(記事要約)



第49号 ● 平成15年(2003年)

「特集! 地域生活支援事業」

平成14年度から、向陽園独自の事業として開始した地域生活支援事業(中略)。支援内容の多くは、支援費制度上の居宅生活支援サービスの調整が中心(中略)。潜在化してきたと思われる障害児者本人や家族のニーズを可能な限り把握しながら支援していきたいと考えています(一部記事抜粋)。



● 平成17年(2005年) まいんどパークオープン



第60号 ● 平成20年(2008年)

「新事業体系に移行!～障害者自立支援法へ～」

平成19年に新体系へ移行となり向陽園は、夜間の生活の場として施設入所支援、日中のサービスとして、向陽園デイサポートセンター、当法人で初めての就労継続支援B型事業所、さらに自立訓練(生活訓練)の多機能型支援施設となりました。また、本体施設と切り離れた形で、「デイサポートたんぼぼ工房」「デイサポートさくら」が開所いたしました。さらに、名称は「知的障害者更生施設」から「障害者支援施設向陽園」となりました。(記事要約)

